



目次

04 価値創造の歴史	24 お客様エンゲージメントの向上 — 購買代理人としての販売力強化
06 価値創造プロセス	28 お客様エンゲージメントの向上 — 購買代理人としてのマーケティング力強化
08 社長メッセージ	30 循環型社会(サーキュラーエコノミー)への取組み強化
12 マテリアリティと経営戦略の策定プロセス	32 環境への取組み
14 特集1:従業員のウェルビーイング推進	33 社会への取組み
16 特集2:新規事業の開発	34 コーポレート・ガバナンス
18 マテリアリティ	40 財務レビュー
18 従業員エンゲージメントの向上	42 数値でみるビックカメラグループ
22 お客様エンゲージメントの向上 — 購買代理人としての商品力強化	44 企業情報

表紙について

本表紙は、サステナビリティ推進部の女性発案で、BLifeデザイン室の鶴巻雅代が構成を考え、人材開発室の田中有美が絵に起こしました。ビックカメラの女性で考案したこの表紙は、ビックカメラのロゴを「人生を歩む道」と見立て、お客様の人生そのものを応援するビックカメラの購買代理人としての姿を表現しました。ビックカメラの従業員が各分野において日々このような想いでお客様の暮らしを心から応援している事が伝われば幸いです。



編集方針

当社グループの価値創造プロセスや事業戦略、ESG情報等、すべてのステークホルダーの皆様に分かりやすく報告することを基本方針としています。また、本報告書は「国際統合報告評議会*(IIRC)」が提唱する「国際統合報告フレームワーク」を参照し編集しており、財務情報と非財務情報をまとめ、どのように長期にわたり価値を創造するかを説明する「統合報告書」として発行しています。本報告書に記載されていない詳細な情報については、当社ホームページにて情報を開示しています。

株主・投資家情報サイト
<https://www.biccamera.co.jp/ir/>



【対象範囲】
本報告書はビックカメラグループを対象にしていますが、一部データと取組みについては、株式会社ビックカメラの活動を対象に報告しています。

【対象期間】
2020年9月1日～2021年8月31日
ただし、一部に当該期間外の取組みが含まれています。

【発行日】
2022年3月

【参考にしたガイドライン】
国際統合報告評議会*(IIRC)の「国際統合報告フレームワーク」を参考にしています。

【将来に関する予測・予想・計画に関する注意事項】
本報告書にはビックカメラグループの過去と現在の事実だけでなく、発行時点における計画や見通しに基づいた将来予測が含まれています。将来予測は、記述した時点で入手可能な情報から判断した仮定ないし見込みであり、諸条件や様々な外部環境の要因等により、当初の見込みとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

* 2021年6月に国際統合報告評議会(IIRC)は、サステナビリティ会計基準審議会(SASB)と合併し価値報告財団(VRF: Value Reporting Foundation)を設立。